



大阪活性化推進総研

2024年1月1日

ニュース

第37号

朝から笑って！odi土曜元気寄席



3月9日（土）、天満天神繫昌亭にて開催

新しい年が明けました。ウクライナもガザも、戦闘は止まないまま年を越し、加えて元旦から能登半島が大地震に見舞われるなど、正月気分も吹き飛ぶ前途多難な年明けとなりました。北陸方面にご親戚やご友人・知人がいらっしゃる方には、心からお見舞い申し上げますとともに、2024年が日本にとっても世界にとっても、少しでも明るく平和な年になってくれることを願ってやみません。

ODI大阪活性化推進総研の活動も22年目に入ります。ここ数年はコロナ禍で活動も思うように展開出来ませんでした。ようやく終息した今年は、ODIが過去に積み上げてきた実績をもとに多彩な事業を再開、あるいは創出していききたいところですが、会員・役員の高齢化も進み、マンパワー不足が深刻です。まずは出来ることから始めて参りますが、皆様のご協力、お力添えのほどを切にお願い申し上げます。

まずご案内するのは2016年から毎年春、大阪・天満天神繫昌亭で開催し、ご好評をいただいていた「朝から笑って！ODI土曜元気寄席」の再開です。今回は、2020年3月に実施が決まっていた直前で中止になった林家染二さんに全面協力をいただき、以下のような内容でお送りします。染二さんは4代目林家染丸の筆頭弟子。滑稽噺から芝居噺・人情噺などその芸は幅広く、文化庁芸術祭大賞など多数の賞を受賞し、現代上方落語を担って立つといわれる噺家です。ふるってご参加ください。

* * *

◇日時：3月9日（土）午前10時30分開演（10時開場）

◇会場：天満天神繫昌亭（大阪市北区天神橋2-1-34）

地下鉄南森町駅4番出口、JR東西線大阪天満宮駅7番出口より
いずれも徒歩3分

◇出演者：林家染二、林家染八、はやしや都美礼（寄席三味線方）



☆ODI 限定チケット優先予約受付中☆

一般2,500円のところを2,000円に割引販売いたします。お申し込み・お支払い方法は裏面4頁をご覧ください。

秋のウォーキング、好評のうちに終了



①「大正区～港区 渡船を巡る」コース（約 5.3 km）：10 月 16 日（月）

コース：JR 大正駅—大阪シティバス（大正橋～西船町）—船町渡船場—（渡船）—千歳渡船場—（渡船）—昭和三山（昼食）—甚兵衛渡船場—（渡船）—尻無川水門—JR 弁天町駅

大阪港に 8 か所ある渡船場のうち、好評だった平成 29 年春の大正区～西成区の渡船巡りに続き、今回は大正区～港区の船町、千歳、甚兵衛の 3 渡船を巡りました。工場地帯の船町から渡船に乗り、住宅地区の鶴町を歩いて、千歳渡船で北恩加島・千島へ。北村南公園を通過して昭和三山（千島公園）で昼食。

昭和 45 年に地下鉄工事の残土などで造られたとされる標高 33m の昭和三山からの六甲、北摂、生駒、金剛の山並み、あべのハルカスや港大橋、千島橋、なみはや橋などの眺望は最高でした。日本に 3 基しかないアーチ式の尻無川水門も船からと陸上からゆっくり眺めました。水門の開閉が見たいとの希望は、年間予定が組まれているため果たせませんでした。天候にも恵まれ、珍しい経験を楽しみました。JR 弁天町駅まで全員無事に完歩し楽しい 1 日でした。（同行責任者：佐藤徳治）。



船町渡船場から乗船

②「お城と金魚の町・大和郡山」コース（約 5 km）：10 月 31 日（火）

コース：近鉄郡山駅—郡山城跡—春岳院（豊臣秀長の菩提寺）—元杉山小児科医院（大正期の洋風築）—火の見櫓—外堀緑地（昼食）—源九郎稲荷神社—④町屋物語館—⑤箱本館「紺屋」—金魚ストリート・やなぎまち商店街（解散）※ ④、⑤は 2 班に分かれ、順序を相前後して入館見学




外堀緑地で全員集合

10 月末としては異常ともいえる暖かさのウォーキング日和。近鉄郡山駅に集合すると 2 班に分かれ、まず城跡へ。大和郡山といえば金魚で有名ですが、実は奈良県随一の城下町。春の桜が見事な郡山城は豊臣秀吉の弟・秀長、江戸期には柳沢家が城主となり、繁栄しました。城郭は明治期に取り払われたものの、追手門や櫓は戦後復元され、石垣も残っています。大小様々な積み石は「転用石」と呼ばれ、各地の寺院などで使われていた石を集めたものとか。天守台からは遠く若草山、東大寺、興福寺、平城京跡など奈良盆地を一望できました。

外堀緑地で昼食。午後は「義経千本桜」にちなむ源九郎稲荷神社から旧市街へ。秀長は城下を 13 町に分け、当番で治安や防火活動などを行う「箱本（はこもと）制度」というユニークな自治制度を敷きました。藍染商の建物を利用した箱本館「紺屋」には、その資料や金魚にちなむ美術工芸品の数々が陳列されていました。「町屋物語館」は、大正 13 年に建てられた木造三階建の元遊廓で登録文化財。現在は市が買い取って一般公開しています。ガイドさんの説明で往時を偲びつつ内部を興味深く見て廻りました。最後は金魚の水槽を置いたお店が軒を連ねる「金魚ストリート・やなぎまち商店街」。金魚すくいは出来ませんでした。お土産を買い求めたりしてそれぞれ楽しみました。（同行責任者：吉井佳容子）

③「山科醍醐、赤穂浪士の大石神社と小野小町随心院を巡る」コース（約 5 km）：11 月 13 日（月）

次頁へ 

← 前頁より

コース：京都市営地下鉄柳辻駅—折神神社—大石神社—勸修寺公園(昼食)—随心院—地下鉄小野駅(散)



随心院正門前で記念撮影

京都山科、地下鉄柳辻(なぎつじ)駅から西へ約2km、東山に向かって30分程歩いて“働く女性の守り神”と云われる折上稲荷神社に到着。天気予報より早めに小雨が降り始めた。参拝後、近くの四十七士の赤穂浪士を祀る大石神社へ。雨が激しくなってきたので忠臣蔵宝物殿を先に見学してから本殿にお参りした。裏道を通り隣にある大石内蔵助が隠棲したと伝えられる岩屋寺を訪ねた。その後、小雨の中を安祥寺川沿いに勸修寺公園まで散策。食事を終えた頃にやっと晴れ間が覗き、名神高速道路沿いに東へ。途中、名神起工の地(旧 JR 山科駅跡地)を通して、真言宗善通寺派の大本山であり、平安時代の歌人、小野小町ゆかりの「随心院」に辿る。一帯は古来小野氏一族が栄えた土地で、小町も晩年を過ごしたとか。きらびやかな襖絵を堪能し、境内にある小町の文塚や化粧井戸も見学。春は梅林、秋は紅葉でにぎわう名利ということで、歴史のロマンに思いを馳せる午後のひと時を過ごしました。(同行責任者：川又 肇)

ODI 俳句の会

第24回 ODI 俳句の会を10月6日(金)、大阪・北区民センターで開催。初の試みとしてメンバーの一人・橋爪寛次さんが提案したインターネット句会の仕組みを適用。ネット上での事前投句により10人の30句が揃いました。当日参加は8人。

事前に各自が「投句」した作品を見ることが出来たせいか、当日までに吟味を重ねてきた人も多く、当日の「選句」はさほど時間がかからず、各自がスマホなどから入力しました。プロジェクター画面の立ち上がりにやや手間がかかりましたが、慣れば落ち着きそうです。今回初めて、全句を順に取り上げ、感想を述べ合うことができたのも収穫でした。



《10月6日・第24回句会から》

炎昼や名物うどん列の尻	廃屋の解体現場も良夜かな	宇宙荒れて光るシニプール極天に	朝顔の軒に未練や秋立ちぬ	遠き日の盆に踊りし炭坑節	ほんにまあ地球沸騰この暑さ	蓮開く東寺露店のアラビヤ語	麦藁帽子銚は手作り肥後守	暗闇にうちわ手探り夢うつつ	秋冷や黙して歩く喪服連れ	邂逅や帰省の駅のすれ違い	雲の峰鏡のビルを湧き立ちぬ
肇	佳谷子	捨盆	捨盆	喜代志	繁幸	裕司	裕司	肇	佳谷子	裕司	耕造

☆第26回 ODI 俳句の会 初めての方も大歓迎!

- ・2024年4月5日(金)午後2時から
- ・大阪市・北区民センター会議室
- ・事前に3句をご用意ください。季節は自由です。ネットでの投句が必要ですので、詳細は担当・松井までお問合せ下さい。

E-mail: matsuisig@icloud.com

Tel: 090-5046-4075

<当日用意するもの>

- ・筆記用具、参加費 500 円



(1頁より続く)

◀ ODI 土曜元気寄席のチケットお申し込み方法 ▶

お名前、ご住所、郵便番号、電話番号、チケット枚数を明記し、出来ればメールで、あるいはFAX、電話、いずれかの方法で下記(担当・吉井)まで申し込み、郵便振替(青色の振替用紙)で1枚につき2,000円を「記号・番号 00940-4-227139、加入者名 NPO-ODI 宛」にお振り込み下さい。恐縮ですが、振替手数料はご負担下さい。また、電話は時間帯によって取れない場合もありますが、何卒ご容赦下さい。

・E-mail : kayo4311@jcom.zaq.ne.jp ・FAX : 072-761-0933 ・TEL : 090-5242-6283 (担当・吉井)

第22回「Od i ゴルフを楽しむ会」

令和5年11月29日(水)、茨木国際ゴルフ倶楽部で開催。8名の参加を得、冬のとば口で少々肌寒い1日でしたが、何とか楽しくラウンドができ、全員完走しました。懇親会と賞品のために徴収した会費の残金1200円をODIに寄付しました。(担当・平岡)



	氏名	表彰	NP
第1組	小山基博	2位	○
	草野賢治	5位	○
	米埜悦治郎		
第2組	山本茂伸	優勝	○
	市村元一	BB	○
	岡本由幸	3位	
	佐藤徳治		
	平岡宣夫		

「USJ」を楽しむ会」

『映画の日に、映画のセットとアメリカの街並みを歩く』をテーマに昨年12月1日(金)、「USJ」を楽しむ会を開催しました。参加者は熟年5名、若いお母さんと幼児2名の計8名。8時30分、USJの地球儀前に集合して、17時30分のクリスマスツリーの点灯式まで、マリオ・ワールドを始め3つのゾーンと6つのアトラクションを楽しみました。

全員で乗ったメリーゴーラウンドは思い出に残るアトラクションで、映画『いちご白書』の主題歌の一節「回転木馬は人生そのもの、上がり下がり下がり前だけに進むもの」が思い出されました。(担当・出雲)



編集後記

能登半島地震と羽田空港事故でお正月気分が一気に吹っ飛んでしまいました。そのおかげという大変ですが、3日からこのODIニュースの作業にかかっています。4日に街へ出たら、お店などほとんど平常通りでした。門松、注連縄なども年々少なくなっています。自分自身、正月準備は年々いい加減になっていますが、こうして「日本のお正月」が消えていくのをさびしく思うのは、年を取った証拠でしょうか？(吉)



NPO 大阪活性化推進総研(ODI) <http://npo-odi.life.coocan.jp/>
〒530-00 大阪市北区中之島4-2-28、甲南アセット中之島ビル
TEL : 090-5251-8906 FAX : 06-6438-9070 E-mail : ica14229@nifty.com